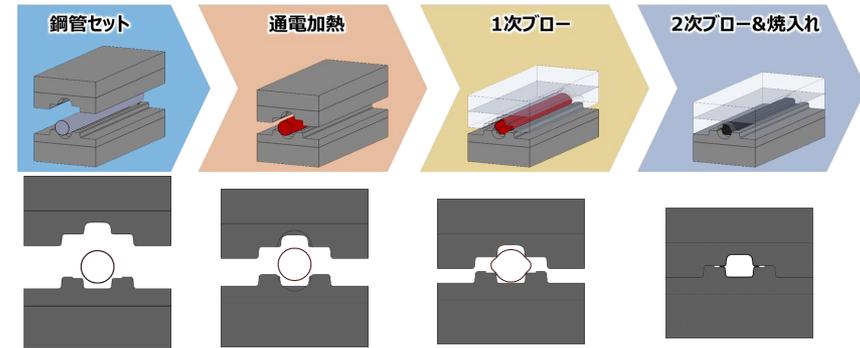
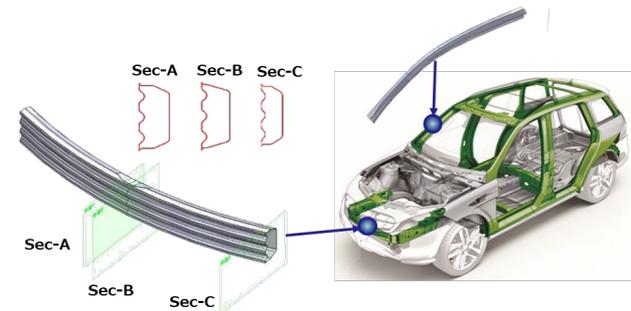


新塑性加工開発SBU STAF-PJ □

- STAF(Steel Tube Air Forming)システムはパイプ材をプレス金型内で通電加熱し、高圧エアをパイプ内部に注入してフランジ一体の連続異形閉断面部材を成形する、世界初の成形システムです。
- 加熱プロセスとして材料を直接加熱する通電加熱を採用することにより、**炉加熱と比べてエネルギー効率がよく、環境負荷の大幅な低減が可能**です。
- パイプ材からフランジ一体の閉断面連続構造で、かつ金型焼入れにより高強度の部材が成形出来る事から、肉厚を薄くできる事が可能であるため、**自動車を軽量化しCO₂排出量を低減**することができます。



STAFプロセスの流れ



カーボンニュートラル貢献ポイント

- ✓ 通電加熱プロセスによるエネルギー効率向上
- ✓ 自動車骨格部品の軽量化